

生徒のみなさんへ

令和元年度の終業式の日を迎えました。現在の社会情勢の中で、例年とは異なる形の終業式となりましたが、ひとまず一年間お疲れ様でした。この一年間は、皆さんにとってどんな一年間だったでしょうか。十分満足できた、あるいはあまり満足できなかった、など感想はそれぞれにあると思いますが、一つだけ言えることは、4月の始業式・入学式で話したように、自ら声を挙げ（言^{こと}挙げ）、手を挙げて、積極的に津和野高校生としての権利を行使しようとした人が、より満足に近い感想を持つことができるのではないかということです。新しい学年を迎えても、ぜひ自ら声を挙げ、手を挙げて、積極的に権利を行使してください。それは、自分の権利の行使する上で妨げとなることに対しても同様です。恐れずに声を挙げましょう。そのとき力になってくれるのが、本当の仲間です。先生方やコーディネーターの方達も力になってくれるはずです。仲間と先生方達と力を合わせて、自らの『夢』をつかみ取りましょう。

そして、この春休み以降も、皆さんが新型コロナウイルス感染症にかからないようにしてください。そのために、不要不急の外出をできるだけ控え、外出する際も「密閉」「密集」「近距離での発声」の3つの条件が同時に重なる場を避けることが重要です。

今回の感染症の症状については、専門の医師でもわかっていないことが多く、まだ特效薬もありません。皆さんが感染した場合、どのような症状が出るかわかりません。もちろん、罹患しても症状が出ずに軽くてすむ場合もあるかもしれませんが、重症化する可能性も決して否定できません。そのようなリスクを回避するためにも、まずは皆さん自身が感染しないように、特に手洗いを必ずして十分に注意してください。

そして、今回の感染症は、高齢者や基礎疾患がある人にとっては、命取りになります。報告例を見ても、重症化して亡くなった方の多くは高齢者の方です。また、がんを患って抗がん剤治療をされている方や、糖尿病の治療をされている方などは、免疫力が低下していますので、万が一感染すると取り返しのつかない重い症状となるようです。私たち人間は、「社会的」な生き物です。私たちの行為は、必ず他の誰かに影響を与えます。同時に他の誰かの影響を受けます。他の誰かと必ずつながっています。それは、皆さんが万が一感染した場合、そのつながる先に高齢者の方や基礎疾患をもっている方が必ずいらっしゃることを意味します。皆さんが感染症に罹^{かか}らないこと、または罹っても咳エチケットを守るなどそれを広げないようにすることは、自分自身だけでなく、重症化リスクの大きい人々を守ることにもなるのです。家から出ないようにすることは、ストレスもたまることだと思いますが、できるだけ自重した行動をとってください。

最後に、来年度は、70人以上の新入生を迎えることになっています。よき先輩として、温かく新入生を迎えるためにも、新型コロナウイルスに負けることなくこの春休みを過ごし、皆さんの全員が元気な笑顔で登校してくれることを願っています。

令和2年3月24日

島根県立津和野高等学校長
熊谷修山